

新型コロナウイルスの 感染拡大における非営 利組織への影響に関する アンケート報告書

2020年9月発行

Ver.2

新型コロナウイルスの感染拡大における非営利組織への影響に関するアンケート (高知県全域版)

高知県の市民活動への支援を目的とする NPO サポートチーム（高知県内の中間支援組織ネットワーク。構成団体はアンケート実施内容参照）では、高知県内の NPO やボランティア団体への新型コロナウイルス感染拡大の影響を可視化するため、6月10日～7月1日の期間にアンケートを実施しました。

コロナ禍で大変な状況の中、ご回答いただいた団体の皆様に感謝しご報告しますと共に、常日頃より NPO 活動及びボランティア活動を支援して下さる関係者の皆様へ、結果をご報告いたします。

目次

はじめに・目次	P1
アンケート実施内容	P2
回答結果(全体)	P3～P20
1.法人格 2.団体名 3.主な活動分野		P3
4.主な財源 5.主な活動地域		P4
6.感染拡大による事業等への影響		P5～P9
7.団体の活動や経営において、影響があった内容		P10
8.売上や受注、利用者数などの減少		P11～P12
9.行っている工夫や対策		P13～P15
10.必要な支援策		P16
11.支援策についての具体的な要望		P16～P17
別記(7の自由記述)		P18～P20
回答結果(活動分野別)	P21～P30
まとめ		P31～P33
今後必要となる支援		P34
アンケート用紙(郵送)	P35～P36
アンケート(ウェブフォーム)	P37～P40
アンケートの結果から	P41～P42
・高知県の市民活動の継続のために、行政の皆様や NPO への委託や補助・助成などの支援や協働を行って いる皆様にご配慮いただきたいこと		
問い合わせ先/47 コロナ基金のアドレス	P43

アンケート実施内容

アンケートの目的:新型コロナウイルス感染症の流行拡大による、非営利組織への影響を明らかにし、現状を社会に伝えると共に、必要な支援やウィズコロナの時代を乗り越えるための相互連携の在り方を探るため。

実施主体: 高知県 NPO サポートチーム(高知県内の中間支援組織の連携ネットワーク)
(NPO 高知市民会議、環境の杜こうち、高知県西部 NPO 支援ネットワーク、高知県ボランティア・NPO センター)

対象: 高知県内の非営利組織(NPO 法人などの非営利法人やボランティアグループなどの任意団体等)

調査方法:

1. 高知県ボランティア・NPO センターの情報提供郵便でチラシ配布 および情報提供メール
(NPO 法人 306 法人、任意団体等77団体)
2. 環境の杜こうちの情報提供郵便での案内
3. ウェブフォームの案内
(郵送物への QR コード記載/ボランティア・NPO センターのホームページで案内・NPO 高知市民会議の会議室で案内)

調査期間: 2020 年6月10日～7月1日 ※郵送分の最終到着受付は 7 月 3 日。

回答件数: 110団体

NPO サポートチームアンケート検討会

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|------------|
| 第一回 | 2020 年 7 月 14 日 | (火) | 4 団体 6 名参加 |
| 第二回 | 2020 年 7 月 28 日 | (火) | 4 団体 6 名参加 |
| 第三回 | 2020 年 8 月 24 日 | (月) | 3 団体 5 名参加 |

事務局:高知県ボランティア・NPO センター

回答結果(全体)

1. 法人格について 110回答

貴団体の法人格について教えてください。
110回答

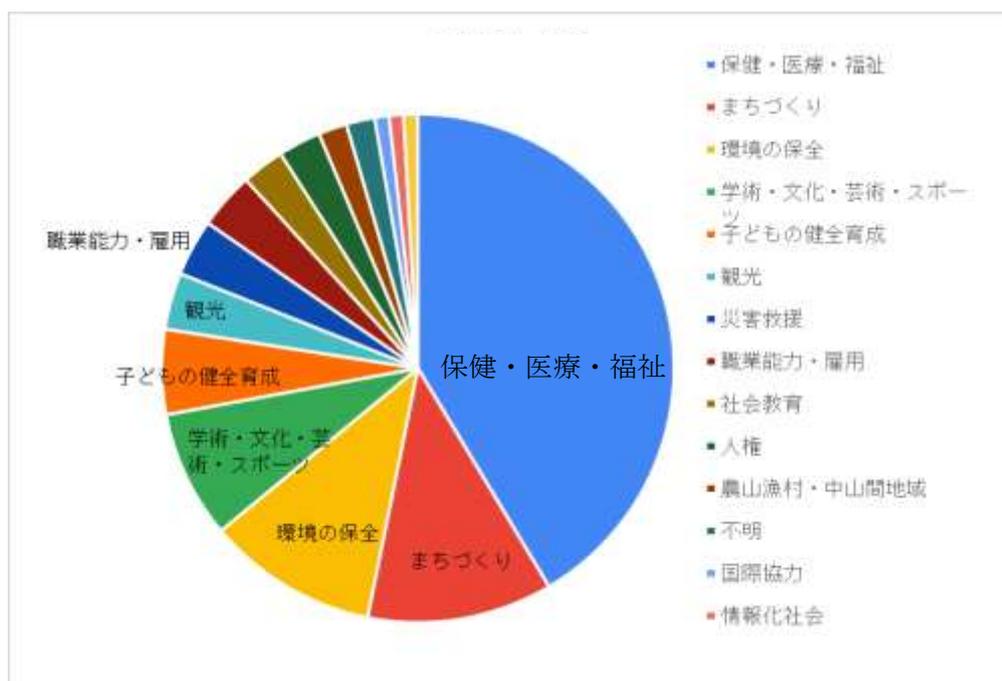


回答した団体は、ほぼ、NPO 法人と任意団体である。NPO 法人が7割を占める。

2. 団体名 102団体が団体名を記載して回答。(非公開)

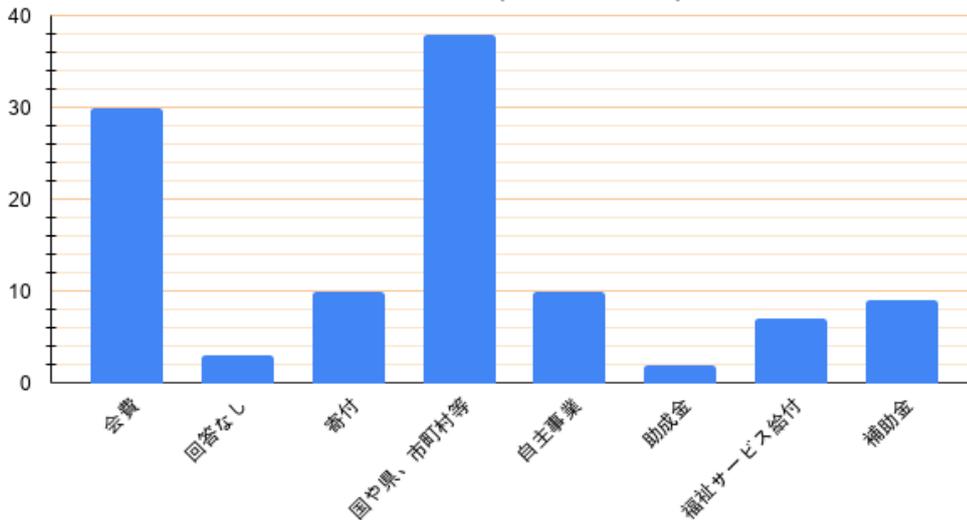
3. 主な活動分野

(注)回答が多様となったため、内閣府のホームページ、団体のホームページ等を参考に、主な活動分野を NPO 法上の特定非営利活動で分類し、事務局で再設定を行ったため、団体の回答とは一致していません。



4. 運営における主な財源(109回答)

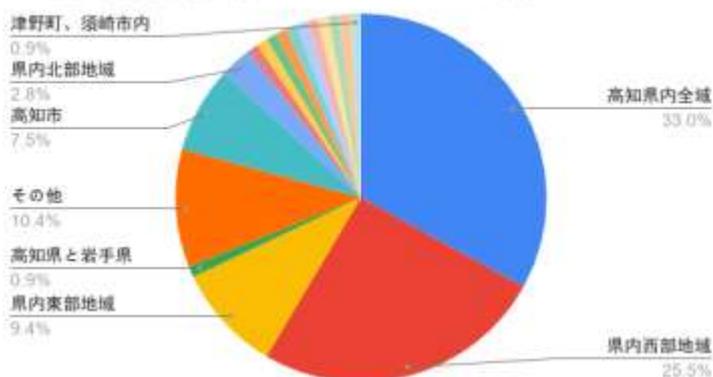
4. 主な財源を教えてください。(109回答)



国や県、市町村からの委託がもっとも多く、次が会費であった。任意団体では、会費が主な財源となっている。

5. 主な活動地域 (106回答)

5. 主な活動地域を教えてください。106回答



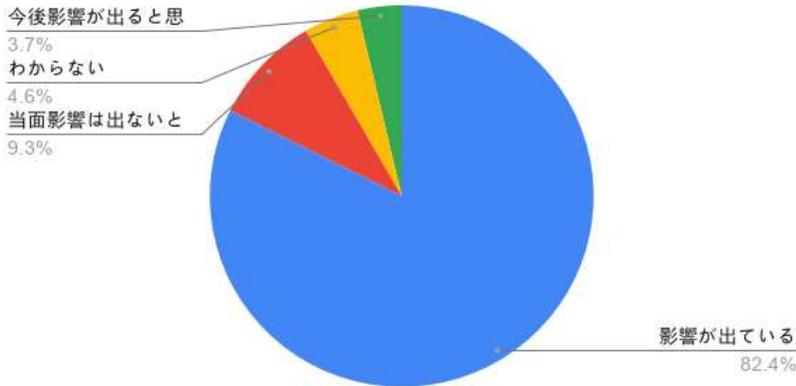
今回、設問ミスにより、高知県中央部を設置しなかったため、その他などが多い結果となった。

(アンケート後一部調整)
活動地域は、高知県内全域がもっとも多かった。

6. 新型コロナウイルスの感染拡大による影響について

6-1 (108回答)

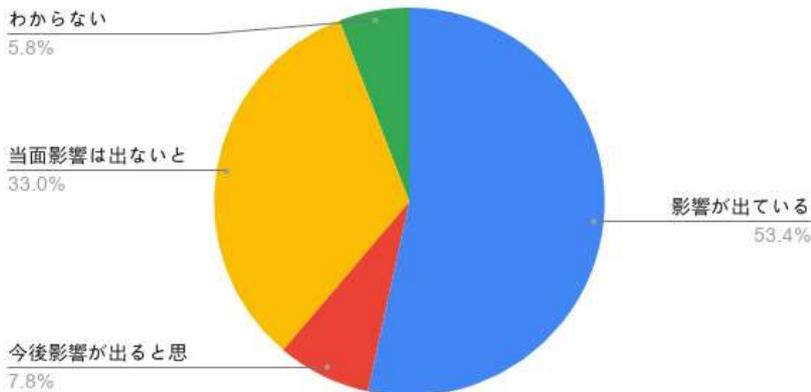
新型コロナウイルスの感染拡大による、「事業の実施」への影響 108回答



事業の実施については、8割以上団体に影響が出ている。

6-2 (103回答)

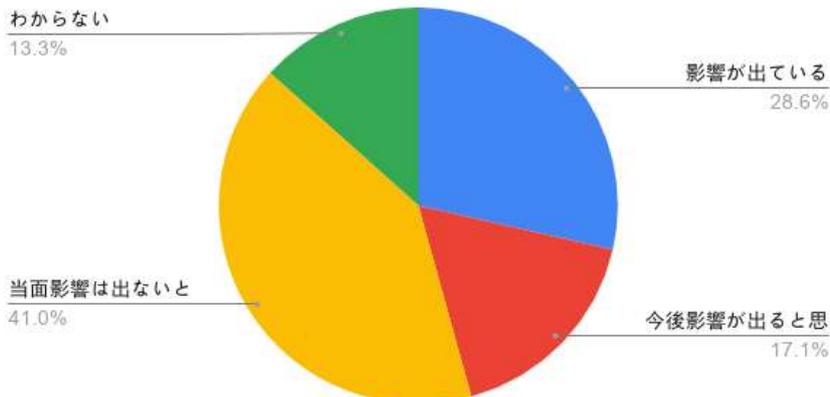
新型コロナウイルスの感染拡大による、活動場所（会場など）の確保への影響はありましたか。 103回答



活動場所の確保については、過半数の団体に影響が出ている。

6-3 (105回答)

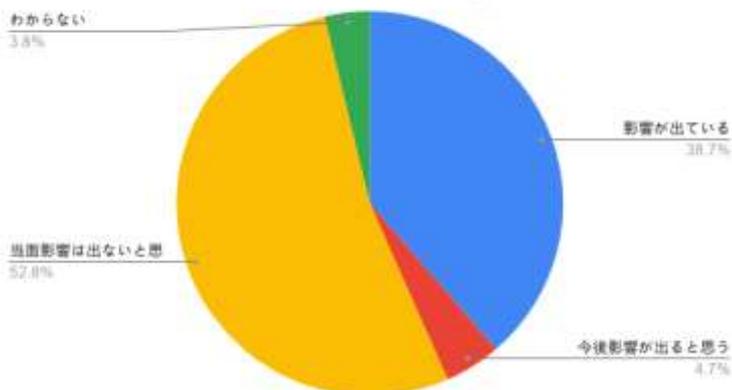
6. 新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の担い手の育成には影響がありましたか。



約3割の団体に担い手の育成に影響があると答えている。また、「今後影響が出ると思う。」と予測している団体も加えると、約5割となる。

6-4 (106回答)

組織内でのコミュニケーションには、影響がありましたか？

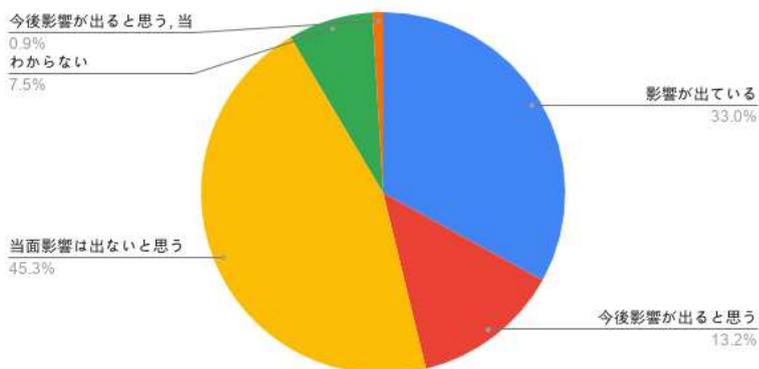


約4割の団体が、組織内コミュニケーションに影響が出ていると回答した。

6-5 (106回答)

[団体の活動へのモチベーションには、影響がありましたか。]

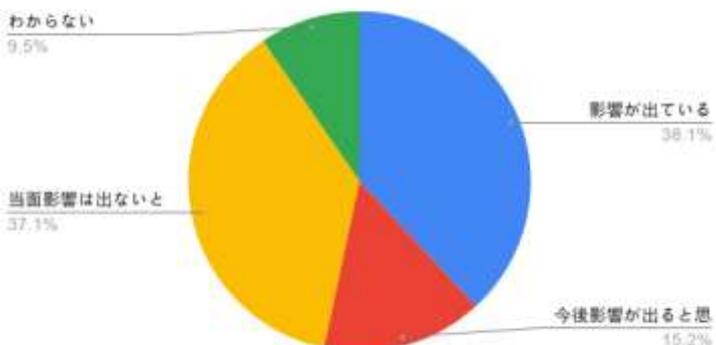
106回答



約3割の団体が活動のモチベーションに影響が出ていると回答している。加えて、1割以上の団体が、今後影響が出ると考えている。

6-6 (105回答)

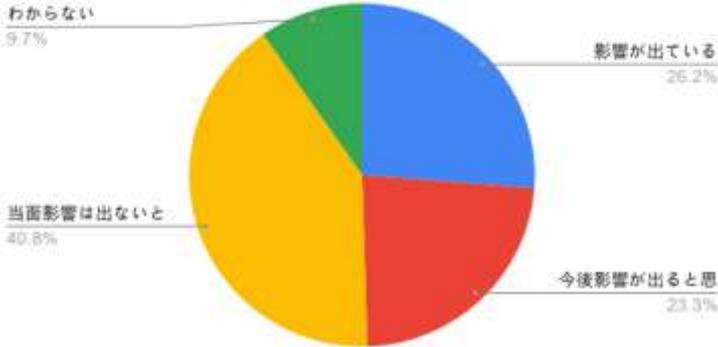
感染予防対策の物資（マスクや消毒液など）の入手に影響はありましたか。（105回答）



約4割の団体が感染予防対策の物資に影響が出ていると回答している。今後影響が出ると考えている団体を加えると、割合は過半数を超える。

6-7 (103 回答)

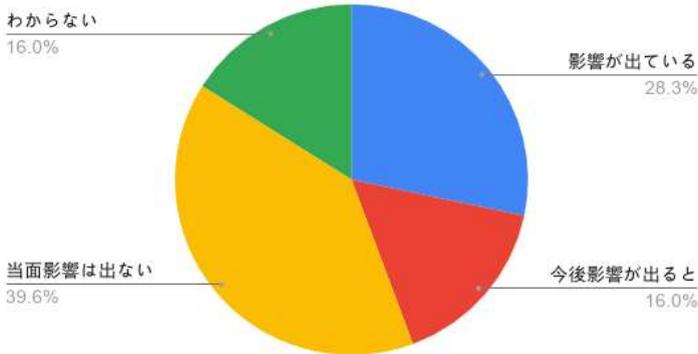
感染予防対策の経費には、影響がありましたか。(103回答)



約3割の団体が、影響が出ていると回答している。今後影響が出ると考えている団体を加えると、割合は過半数を超える。

6-8 (106 回答) スタッフの生活の変化に伴う、事業および経営への影響 (本業の収入低下による複業実施による活動時間の減少や家族への対応など)

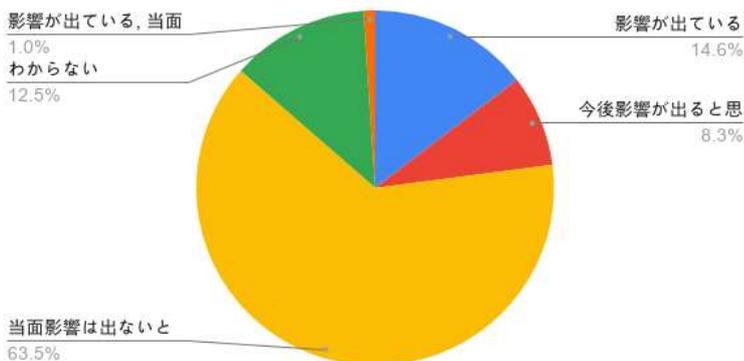
スタッフの生活の変化に伴う、事業および経営 (本業の収入低下による複業実施による活動時間の減少や家族への対応など) に影響はありましたか。



3割弱の団体がスタッフの生活に変化があり、事業や経営に影響が出ていると回答している。2割弱の団体が、今後影響が出ると考えている。

6-9 (96 回答)

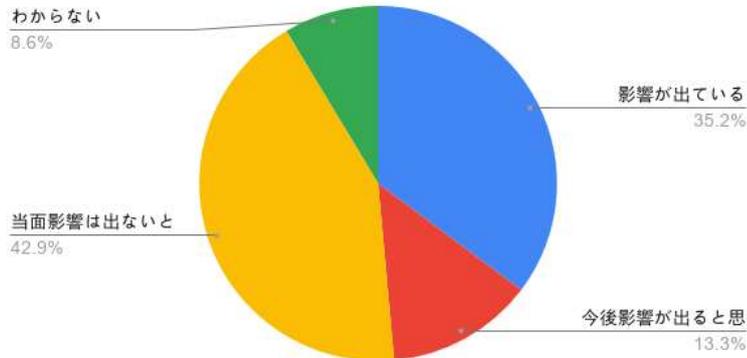
スタッフの雇用や雇用形態の変更には、影響がありましたか。96回答



約2割の団体が、影響が出ている、または今後影響が出ると思うと回答している。

6-10 (105 回答)

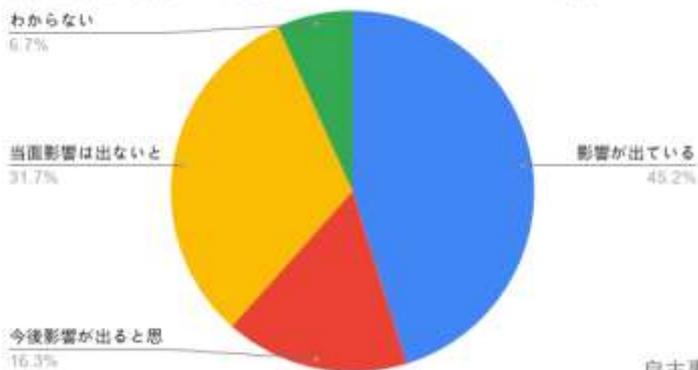
スタッフの活動や活動形態の変更には、影響がありましたか。
105回答



約 5 割の団体が、スタッフの活動や活動形態の変更の影響が出ている、または今後影響が出ると思うと回答している。

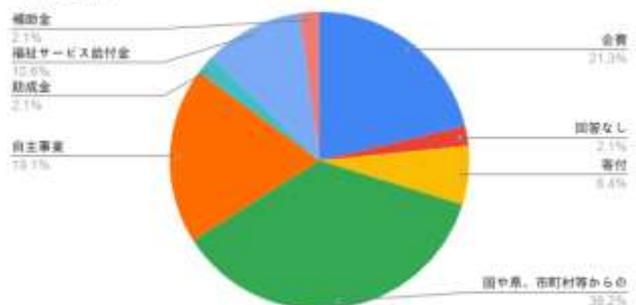
6-11 (104 回答)

自主事業の減収に、影響がありましたか。(104回答)



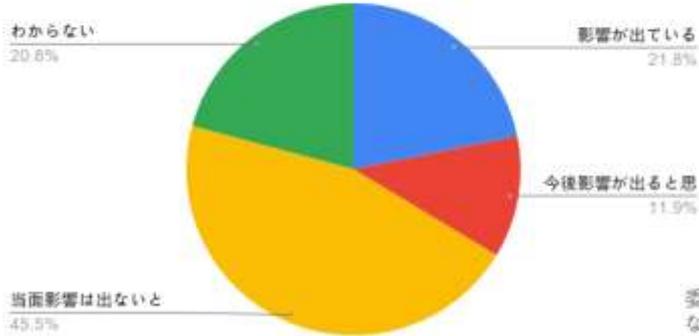
約 5 割の団体が、自主事業の減収に影響があったと回答している。

自主事業の減収があったと回答した団体の、主な財源の割合 (47団体)



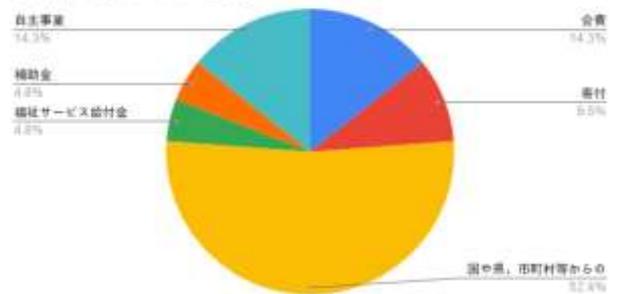
6-12 (101 回答)

委託費や補助金、助成金の減額には、影響がありましたか。
101 回答



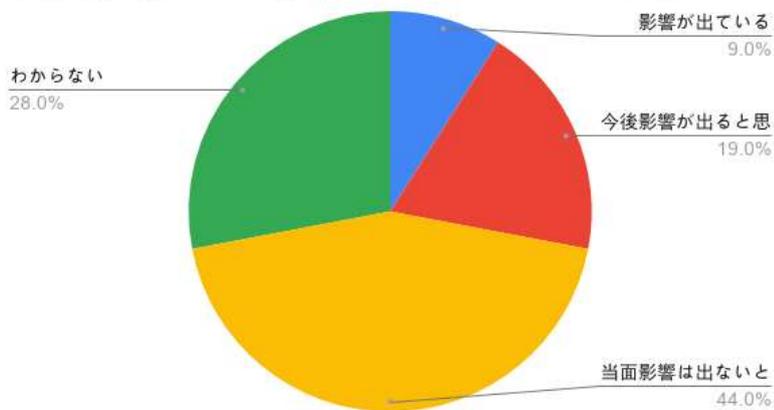
約 2 割の団体が影響が出ていると回答し、約 1 割の団体が今後影響が出ていると回答している。

委託費や補助金、助成金の減収があったと回答した団体の、主な財源の割合 (21 団体)



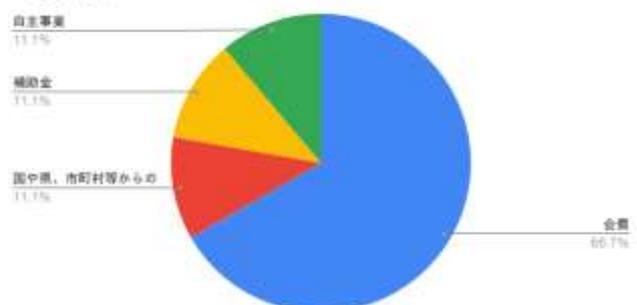
6-13 (100 回答)

寄付金額の減少には、影響がありましたか。100 回答



約 1 割の団体が、寄付金額が減少していると回答している。約 2 割の団体が、今後影響が出ると思うと回答している。

寄付金額の減収があったと回答した団体の、主な財源の割合 (9 団体)



7. その他、団体の活動や経営に影響があったものがあればお書きください。 (プラスになったことなどもお書きください。) (54コメント)

事業や活動の中止、減収による運営資金の不安、団体内のモチベーションの低下についての、説明が見られた。また、少数ではあるが、プラス面についてのコメントもあった。

(1) 事業や活動の中止、減収による運営資金の不安、団体内のモチベーションの低下等の詳細状況について

→[7別記](#)参照 (P18)

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大により見られたプラス面について

【オンライン化、IT化が進んだ。】

- ・インターネットバンキングの導入、Webページの改定など、通常業務では手をつけることができなかった業務を進めることができた。
- ・在宅の方が増えた関係か、ネット関係の事業の方は、例年よりも良い反応が得られた。今は地域の高齢者の施設などに向け感染対策の情報を発信している。
- ・会の運営に関しては、オンラインを導入した。今後も利用できるように、情報を集めていきたい。
- ・ZOOM を使い、リモート会議を一部デモ的に実施し、実際のセミナー(有料)をオンラインでうけて、広く利用する方向が生まれた。
- ・オンライン活用に、周りも積極的になった。
- ・ワークショップのオンライン化、コミュニティのオンライン化が進んだ

【その他】

- ・国や県の緊急対策費による業務の依頼が増えそうである。
- ・陣中見舞いと言って、消毒液やマスク、フェイスシールドなどを持参して、はげましの言葉や、父がお世話になったからなど、やさしい言葉をいただき、励みになった。

8. 売上や受注、利用者数や委託金の減少などがあった場合、その金額や数(見込みも可)を教えてください。

会費の減収

1. 令和2年3月～5月の間休講のため、会費の納入がなくなり無収入となったので、約45～50万円の減収。

助成金の減額

1. 講演会等の事業を企画しないことによる助成金の減少や、まちづくりファンドの助成取りやめによる助成金の中止

委託費や補助金などの減額

1. 今のところ変更はないが、R2年度事業実施の状況により減額等が示される可能性あり。実施をするための準備等に人件費等が大幅に増加しているから、実績的にはゼロに近く、200万円ぐらいの影響が出る。
2. 売上はすでに、100万円程度は減少(4～5月)。今後も昨年と比較すると厳しい状況にある。どのぐらい影響が出るのかは不明。委託業務もなくなったものもある。
3. 自粛による受託事業契約解除 年間1,500,000円
4. 県からの講座の委託を受けているが、3月から6月まで、ほぼ0となった。(昨年度7件)。例年この時期は少ないが、今後期待したい。
5. 市から受託が決まっていたバリアフリーまっぷ制作が契約に至らずストップ(市で延期も含め協議中)
6. 4月から5月21日までに、デイサービス、交流促進講座の未実施に伴う委託料返還金約35万円

利用者の減少

1. 延べ120人の減少。
2. 利用者2名、2週間に1回のペース
3. 前年度比で約25%(43,000人)の入園者数の減が発生している。
4. 休業要請があったため1カ月ほど休館をしていたので、4月5月の収入が前年比10分の1しかない。要請があげた後も利用者は数人しかない。
5. 閉館による利用者数の減少(図書館:1600人)(文学館:200人)

自主事業や工賃収入などの減収

1. イベント出店がすべて中止になり、今後の見通しも立っていない。昨年90万円の売り上げ→ゼロの可能性。
2. 20万円から25万円の収益のあった受注金が10万円ぐらいに下がった。工賃収入が減少した。
3. 売上30万円減。利用者さんの利用時間も短時間利用である。
4. スポーツツーリズムによる来町者受入自粛により、約3000泊分のキャンセル。
5. 20件近かった依頼が今のところ今年度はゼロ。
6. 自粛による運営費減収額 4月のみ 1,500,000円
7. 前年同月比で30%減(宿泊施設運営)

8. 事業所を利用される利用者数の減少があったので支援費の減少がありました。
9. 4月は90万円、5月は50万円の減収（売上ゼロのため）となっている。
10. 30万円ぐらいの減収？
11. 臨時休業をした約一カ月は売上はほぼ止まった状態だったが、主な資源である委託金の減額はなかったもので、大きな影響はなかった。
12. 4月～6月までは宿泊者が一人もいない(全てキャンセルになった)
13. 利用者、販売額の減少 10分の1ぐらい
14. 前年同月比 3月：約35%減、4月：約40%減、5月：約55%減
15. 30万程度
16. 6万円程度
17. 100,000円
18. 100万
19. 約10万円の減収
20. 30%～60%減
21. 3～6月の講座、出前授業、エコツアー、体験アクティビティなどが0となった。約100万円程度の減収。
22. 利用者数の減少により、昨年度5月は、20～30%の減収。
23. 利用者生産活動収益が半減 前年度4月603,814円 今年度4月343,863
24. 2020年5月の授産事業の売上が266926円。2019年5月は572000円なので53.4%減だった。
25. 約100万円減少。
26. 年度末決算において、1,592千円のマイナスであった。本年3月以降相談者の面接は減少傾向にあるように思える。

新型コロナウイルス対策費を利用できない。

1. 昨年度の同月に比べると、利益も上がってきていたため差がなく、コロナウイルスにおける補助金等の対象にならないことが多い。また、利益が上がっていた分で4月以降の予算（主に人件費）を立てていたため、その影響が大きい。

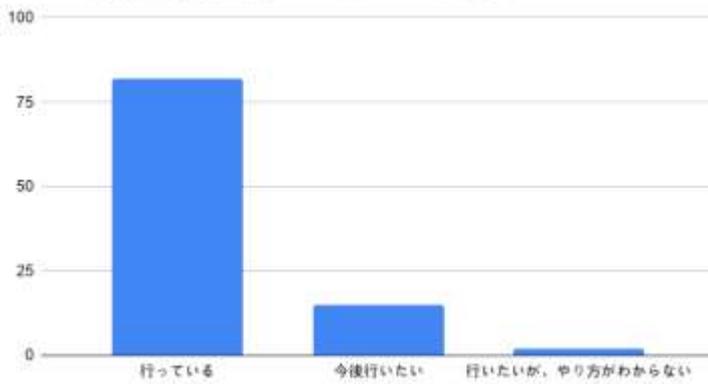
活動に関するコメント他

1. 三密を避けるために、集合しての活動、バスでの移動などできないため、活動は現在休止中です。子供たちの活動なのでまだしばらく活動できません。
2. 利用場所が老人ホームのため、今後の見通しがたたない（クチコミが普及されるまでは無理）。新たなフィールドで考える必要がある。ポケットは予防しながら開催中。
3. 事業を縮小して実施するが、年度末の実績を出すときでないと、概算でも出しにくい。
4. 今後どうなるのかによって変わってくるので、現段階ではまだわかりません。
5. イベントについては参加費は無料なので、収入が減ったということはありませんが、今年の参加登録者が550名もいますので、中止の連絡の葉書代や電話代が負担となっています。

9. 影響を少なくするために、組織の運営や活動で行っている対策や工夫

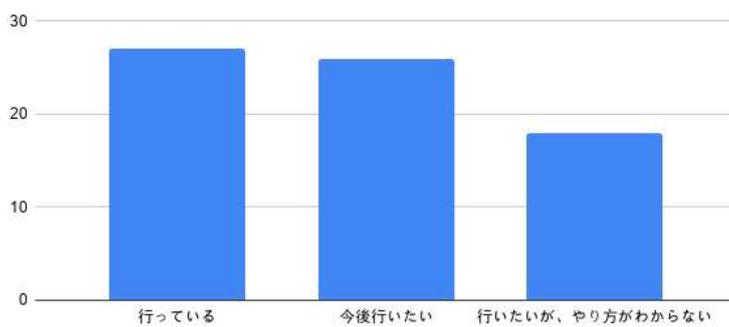
9-1 (99 回答)

9-1 感染症予防を講じている。(99回答)



9-2 (71 回答)

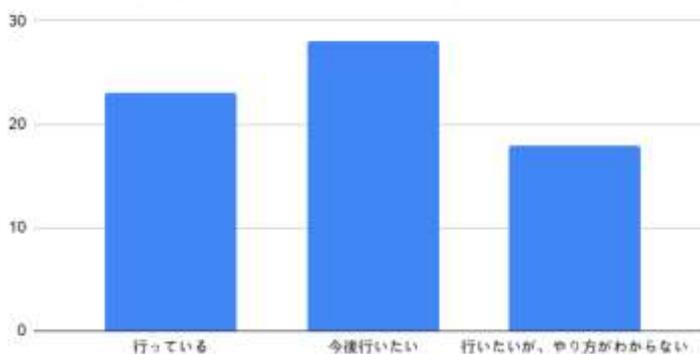
9-2. ウェブ会議システムなどを活用して、内部のコミュニケーションを図っている。(71回答)



「9-2. ウェブ会議システムなどを活用して、内部のコミュニケーションを図っている。」のカ

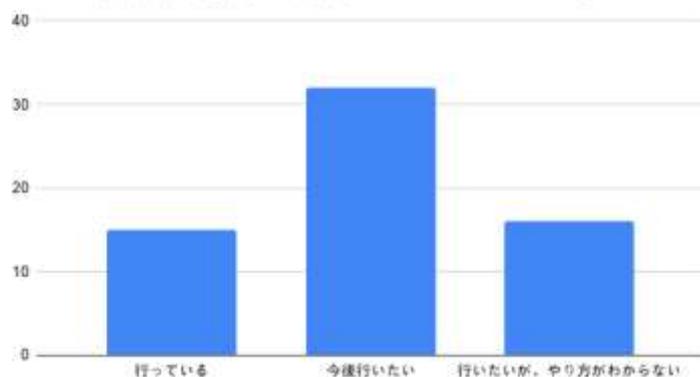
9-3 (69 回答)

9-3. ウェブ会議システムなどを活用して、イベントや打ち合わせなどを実施している。(69回答)



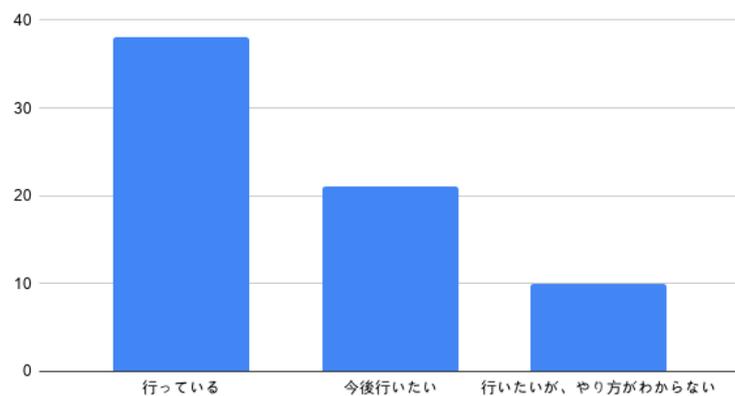
9-4 (63 回答)

9-4. 他団体と協働して対策している。(63回答)



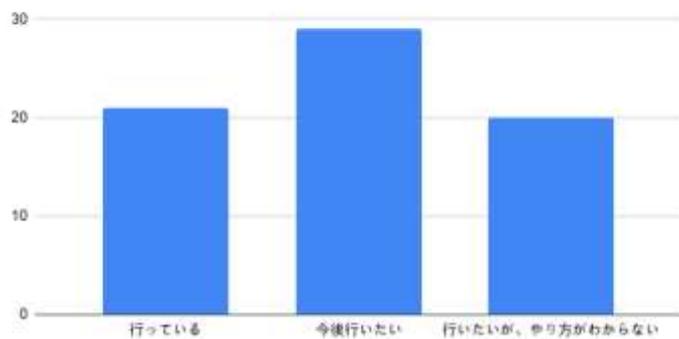
9-5 (69 回答)

9-5. 行政と協働して対策を講じている(69回答)



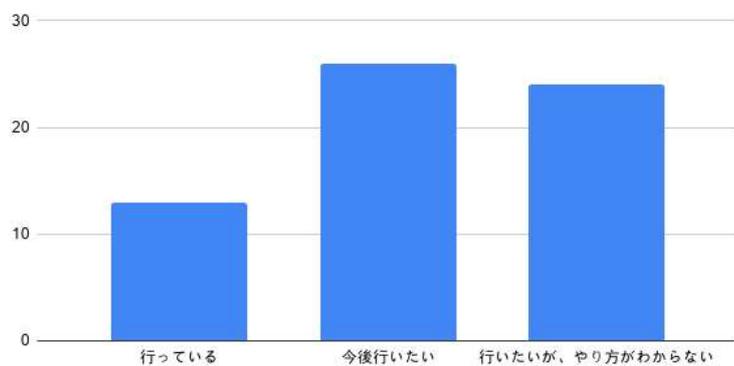
9-6 (70 回答)

9-6 感染症対策の支援制度や助成金についての情報を集めている。(70回答)



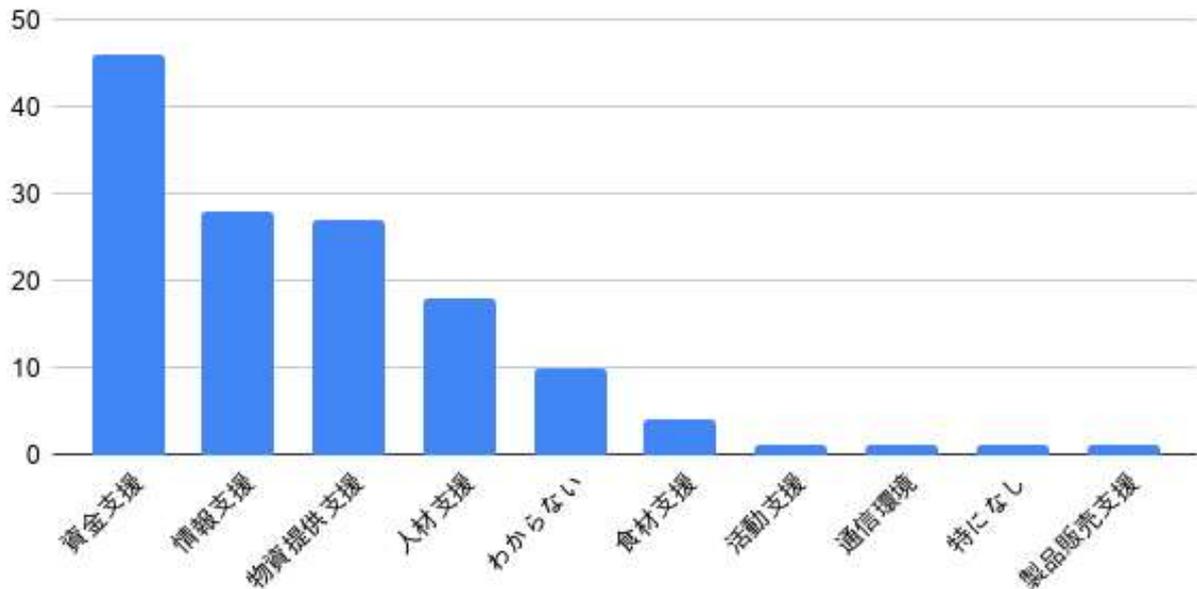
9-7 (63 回答)

9-7 感染症対策の、法人に対する支援制度(助成金や融資などの利用



10. 必要な支援策について 複数回答可 137回答

10. 必要な支援策について、当てはまるものを選択してください。（複数選択可）



11. 必要な支援策について、具体的な要望（37コメント）

緑字=資金支援、紫字=感染拡大予防用品支援、黄字=オンライン化など

● 授産活動の商品（コーヒー、クッキー、しいたけ）は官庁、学校、大学等での訪問販売でさばっていました。それができなくなっています。早く再開できるようにしてほしい。また、注文販売ができるように工夫したいと考えている。
● 感染予防に係る保健衛生用品や備品
● 消毒液、マスク
● 事業委託等で資金は一定額の支援は受けているものの、事業全般を維持するためには会費・寄附金で運営している。昨今会費収入は減少傾向にあり、更なる会員及び寄附金等の拡大を図らなければならないと考えられる。たとえば、ホームページやネット等を活用しての資金確保等のシステムや方法についての知識習得等
● 持続化給付金の申請中
● 任意団体でも活用できるシステム（相談窓口や金銭的な部分）があれば知りたい。
● 危険手当の給付（感染リスクを持ちながら介護を継続しているので）
● 消毒薬など細かく購入はできるが、今後備えてまとまった購入をする費用が少ないため、物品支給があれば。
● 現段階では、アルコール消毒・使い捨て手袋・子ども用マスク等。また常にマスクをつけるため、子どもたちが過ごす部屋にエアコンなどが設置できるような支援があればと考えます。
● ブラジル現地での活動のための寄付

- パソコンサポートしてもらえるよう依頼しても、石鹼生活者・香料のない生活者はなかなか見つからず困窮している。代表も高齢になり、様々な資料作りができません。電磁波にも過敏なため、長時間 PC 作業が困難、早急に助けが必要。
- 今年度については、事業実績に対応した人件費等を含めて実績としてほしい。
- アルコール消毒液など
- 地域高齢者の方々への情報発信やアンケート調査にかかる費用の援助。
- 2 波、3 波にそなえての、リモートなどを使った講座の可能性、方法などの情報が欲しい。
- オンラインが苦手な県民への取り組み（自分たちは使えるけど、相手は使えない。）
- 会員の安否確認、臨場支援
- 感染対策のための助成金があれば知りたい。
- 感染予防のための備品（今後どれだけ用意しなければならないかの不安）
- 高知大学留学生支援係と話し合い中
- 商品の流通支援
- マスク、消毒液、飛散防止フィルムなど
- 学校の対策に準じて行っていますので、当面 1 学期中の活動はできません。各家庭でできることを投げかけています。
- 収入につながるよう、物品販売があれば知りたいです。
- 防止対策のパーティション、検温器などの費用が欲しい。
- 居場所づくりの場所を探す。
- 会員数の減少で、月々の支出のバランスが崩れています。そのための一時的資金の支援がほしい。
- 活動紹介をしていただけるとありがたいです。
- 会場訪問したいが出来ないので状況がわかりません。
- 再発防止のためのマスク、アルコール etc
- 活動資金として使える補助金、助成金があると助かります。
- 過疎化を言うことは人材も不足ということ
- 資金不足となりました。資金の支援をお願いしたい。

7別記

赤字=事業に関すること 緑字=収入の減少 青字=組織力の低下など

設問: 7. その他、団体の活動や経営に影響があったものがあればお書きください。(プラスになったことなどもお書きください。)

- 支援活動に必要な講演会の開催が中止、研修会等の開催も延期や中止をしなければならず、支援活動の士気低下が気がかりなことがある。また、長期間の自粛が続くことから当センターの財源である会員各位からの寄付が微減的に現れてきていること等。
- コロナ不安による利用者の休みが増え、障害福祉サービス収入減少が出てきている。
- 三密を避けることの難しさ。
- コミュニティカフェは全く開けず、また障害者施設への訪問も2月～5月休止。
- 昨年度、活動がかなり学校現場で浸透してきた手ごたえがあったが、今年は通常の学校生活も危ういので、我々の入る余地がなく、依頼もなくなっている。
- 学生の参加がいつ出来るかわからない
- イベントの中止、定例会の頻度の減少、文化教室・スポーツ教室の自粛
- 通常活動が全て自粛になった
- 施設における活動(傾聴)の休止と借用会場(会員養成講座、定期総会、月例会)の閉鎖
- 国や県の緊急対策費による業務の依頼が増えそうである。
- 予定されていた様々な事業が中止となっているが、今後も開催できるのか見通しがたたない。
- ・インターネットバンキングの導入、Web ページの改定など、通常業務では手をつけることができなかった業務を進めることができた。
・観光客受入自粛、イベント延期等による損失
- 臨時休業や積極的な広報、誘客活動を控える必要はありましたが、在宅の方が増えた関係か、ネット関係の事業の方は、例年よりも良い反応が得られた。
- 事業収入の大幅な減収
- 自営の事業から運営費を回しているが、収入が減り影響が大きい。
- 訪問活動の中止
- イベントが実施できなかった

<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が減少した。 また、プラスになったことは、陣中見舞いと言って、消毒液やマスク、フェイスシールドなどを持参して、はげましの言葉や、父がお世話になったからなど、やさしい言葉をいただき、励みになった。
<ul style="list-style-type: none"> ● 会議が開けないことと会議のための会場確保が従来のように行えない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 演奏活動や福祉フェアの開催などを行っているので、三密状況であり、今のところ活動や練習を行えない。今は地域の高齢者の施設などに向け感染対策の情報を発信している。
<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の激減
<ul style="list-style-type: none"> ● 会の運営に関しては、オンラインを導入した。今後も利用できるように、情報を集めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業が自粛により停滞したことは困った。が、できる範囲の見直しをしている。 ・ZOOMを使い、リモート会議を一部デモ的に実施し、実際のセミナー(有料)をオンラインでうけて、広く利用する方向が生まれた。
<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問ができなくなった。講座の中止あり。
<ul style="list-style-type: none"> ● 移転とその後の開設準備に遅れが出た。休館をしなければならず、利用者を受け入れることが6月までできなかった。集客しての行事ができない。
<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン活用に、周りも積極的になった。
<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップのオンライン化、コミュニティのオンライン化が進んだ
<ul style="list-style-type: none"> ● 会員との接触が困難になった。
<ul style="list-style-type: none"> ● 教室開催に利用している会場(三か所)が利用禁止になり、三カ月間休講となった。
<ul style="list-style-type: none"> ● 3~5月、活動自粛にともなう減収
<ul style="list-style-type: none"> ● 4月に濃厚接触者が施設内から出たため、2週間の自主自粛となり減収
<ul style="list-style-type: none"> ● 総会、理事会の延期(結果的に5月に書面表決で実施)
<ul style="list-style-type: none"> ● 就労継続支援B型、2事業所ある中の1事業所は、お菓子の製造販売としており、8割が訪問販売なので、4月5月6月と中止になったので、利用者さんの工賃支払いに支障が出ている。
<ul style="list-style-type: none"> ● タウンモビリティ二カ月半休止。その後も感染対策をして再開。活動減が次年度の補助額に影響する可能性あり。
<ul style="list-style-type: none"> ● 現地に行くことができなくなっている。里親の方の収入減で支援金が集まっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 生産物の販売先(訪問先)の自粛により、売上の減少
<ul style="list-style-type: none"> ● 3月のイベントも中止になった。
<ul style="list-style-type: none"> ● メイン活動の中止
<ul style="list-style-type: none"> ● 盆踊りで寄付をもらっていた。25万円ほどの見込みだった。
<ul style="list-style-type: none"> ● 交流の場の提供ができなくなったことが一番の影響。6月に入ってやっと子どもたちの元気な声が聞かれるようになりました。

- あったかふれあいセンターの委託費については減少なし。利用制限自粛による給食事業が収入減となっている。
- **通所の中止**。お弁当注文が増えたが元に戻った。
- 総会の**参加者が減った**。
- 活動内容を改善しようと思っていた矢先だったので、新しいアイデアにチャレンジするきっかけになった。事業の方向性を大幅に変更できる。
- 視察研修の受け入れが**全くなくなった**。
- **会員の解約、寄付の減少**
- 業務委託分 **150万円程度減少**
- オリンピック後の資材コストの低減が遅れるために、活動の活性化が遅れている。
- いきいき百歳中止による高齢者の運動不足外出できないことから、筋力低下や認知症に対する**心配事の電話相談**あり
- 訪問先(仕事先)が期間中**閉鎖**(入室禁止)となった。
- スポーツ**活動を休止**したため知的障害者の体力の低下が懸念される。
 - ・ウェブ会議を初めて活用(プラス面)
- 学校が休みの為用務員が休職となり**収入減**となった。
- 令和2年度の**集会を中止**した。
- 電話対応のみで**訪問活動ができず**、当事者の不安が多かった。

活動分野別の回答 6-9~6-11

影響が出ているとの回答が50パーセント以上の場合
影響が出ているとの回答が100パーセントの場合

6-8 スタップの生活の変化に伴う、活動の変化

回答内容	回答/カウント	合計/カウント
まったく	13	
わからない	7	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	1	
学校・文化・芸術・スポーツ	4	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
環境の健全	12	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	10	
観光	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
観光	4	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	3	
国際協力	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
国際協力	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
児童教育	4	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	3	
子どもの健全育成	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	0	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
社会教育	3	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	0	
情報化社会	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
職業能力・雇用機会	4	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
人権	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	3	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	0	
岡山県庁・中山間地域	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
不明	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
保健・医療・福祉	46	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	42	
わからない	0	
影響が出ている	14	
当影響は出ないと思う	10	
当影響は出ないと思う	13	
(空白)	1	
統計	110	

6-10 スタップの活動や活動形態の変化

回答内容	回答/カウント	合計/カウント
まったく	13	
わからない	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	10	
(空白)	1	
学校・文化・芸術・スポーツ	9	
影響が出ている	7	
当影響は出ないと思う	2	
環境の健全	12	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	11	
わからない	0	
影響が出ている	6	
当影響は出ないと思う	6	
(空白)	0	
観光	1	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	1	
国際協力	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
国際協力	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
児童教育	4	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
子どもの健全育成	4	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	3	
わからない	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
子ども	6	
影響が出ている	6	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
社会教育	5	
影響が出ている	5	
当影響は出ないと思う	0	
情報化社会	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
職業能力・雇用機会	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
人権	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	3	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	0	
岡山県庁・中山間地域	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
不明	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
保健・医療・福祉	46	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	42	
わからない	0	
影響が出ている	7	
当影響は出ないと思う	18	
当影響は出ないと思う	9	
(空白)	0	
統計	110	

6-11 自主事業の減収

回答内容	回答/カウント	合計/カウント
まったく	13	
わからない	7	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
学校・文化・芸術・スポーツ	9	
影響が出ている	5	
当影響は出ないと思う	4	
環境の健全	12	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	10	
観光	1	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	7	
(空白)	0	
観光	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
国際協力	4	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
児童教育	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
子どもの健全育成	6	
影響が出ている	6	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
社会教育	3	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	0	
情報化社会	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
職業能力・雇用機会	4	
影響が出ている	4	
当影響は出ないと思う	0	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
(空白)	0	
人権	3	
影響が出ている	3	
当影響は出ないと思う	0	
わからない	1	
影響が出ている	1	
当影響は出ないと思う	0	
岡山県庁・中山間地域	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
不明	2	
影響が出ている	2	
当影響は出ないと思う	0	
保健・医療・福祉	46	
影響が出ている	5	
当影響は出ないと思う	41	
わからない	0	
影響が出ている	8	
当影響は出ないと思う	11	
当影響は出ないと思う	2	
(空白)	0	
統計	110	

影響が出ているとの回答が、回答団体数の50パーセントを超えている活動分野は、黄色で色付けしている。
回答団体数の100パーセントである活動分野は、赤で色付けしている。

活動分野別の回答 6-12~6-13

8-12 愛託品や補助金、助成金の減額
影響が出ているとの回答が50パーセント以上の場合
影響が出ているとの回答が100パーセントの場合

回答内容	件数/カウント
まちづくり	13
わからない	2
今後影響が出ると思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	6
学術・文化・芸術・スポーツ	9
わからない	1
影響が出ている	3
今後影響が出ると思う	3
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	12
環境の保全	2
わからない	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	0
観光	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	4
(空白)	0
観光	1
影響が出ている	4
今後影響は出ないと思う	2
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	1
国際協力	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
災害救援	4
わからない	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	1
子どもの健全育成	6
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	2
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	1
社会教育	3
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	2
当直影響は出ないと思う	3
(空白)	1
情報化社会	3
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	4
職業能力・雇用機会	4
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	1
人権	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	3
(空白)	1
農山漁村・中山間地域	2
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	2
不明	2
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	46
保健・医療・福祉	14
影響が出ている	11
今後影響は出ないと思う	5
当直影響は出ないと思う	13
(空白)	14
統計	110

8-13 寄付金額の減少

回答内容	件数/カウント
まちづくり	13
わからない	2
今後影響が出ると思う	3
当直影響は出ないと思う	7
(空白)	1
学術・文化・芸術・スポーツ	9
わからない	1
影響が出ている	3
今後影響が出ると思う	3
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	12
環境の保全	2
わからない	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	0
観光	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	4
(空白)	0
観光	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	1
国際協力	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
災害救援	4
わからない	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	1
子どもの健全育成	6
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	2
当直影響は出ないと思う	3
(空白)	1
社会教育	3
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	2
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	1
情報化社会	3
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	4
職業能力・雇用機会	4
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	2
(空白)	1
人権	1
影響が出ている	1
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	3
(空白)	1
農山漁村・中山間地域	2
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	2
不明	2
今後影響は出ないと思う	1
当直影響は出ないと思う	1
(空白)	46
保健・医療・福祉	14
影響が出ている	11
今後影響は出ないと思う	5
当直影響は出ないと思う	13
(空白)	14
統計	110

影響項目の個数比較(経営全般への影響率)

分野	団体数	項目(0%項目)の数の割合	項目(100%以上項目)の数の割合	合計
まちづくり	13	0	2	2
学術・文化・芸術・スポーツ	9	0	4	4
環境の保全	12	0	1	1
観光	4	0	7	7
国際協力	1	4	0	4
災害救援	4	1	4	5
子どもの健全育成	6	1	7	8
社会教育	3	2	4	6
情報化社会	1	6	0	6
職業能力・雇用機会	4	0	5	5
人権	3	1	1	2
農山漁村・中山間	2	0	1	1
保健・医療・福祉	46	0	2	2
統計	108	15	38	53

影響項目の数が多い活動分野は、経営全体への影響があったものと推測される。

(国際協力、情報化社会は、1団体のみであるため除外)

影響項目の多い(黄色や赤で色付けされている項目の多い)活動分野

- 1) 子どもの健全育成
- 2) 観光
- 3) 社会教育
- 4) 災害救援
- 4) 職業能力・雇用機会
- 5) 学術・文化・芸術・スポーツ

影響が出ているとの回答が、回答団体数の50パーセントを超えている活動分野は、黄色で色付けしている。
回答団体数の100パーセントである活動分野は、赤で色付けしている。

活動分野別の回答

(コロナ禍の影響と、収入や活動の減少の具体的な数字)

注) 活動分野については内閣府のホームページなどを参考に、事務局で区分しているため、一部団体の設定と違う場合があります。

回答は、主旨を損なわない範囲で要約して記載している場合もあります。

アンケート期間は、6月10日～7月1日です。

	コロナ禍の影響	収入や活動の減少 その具体的な数字
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 観光客受入自粛、イベント延期等による損失 イベントが実施できなかった 観光客の激減 委託業務もなくなったものもある。 利用者、販売額の減少 <p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン活用に、周りも積極的になった。 <p>インターネットバンキングの導入、Webページの改定など、通常業務では手をつけることができなかった業務を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県の緊急対策費による業務の依頼が増えそう。 	<ul style="list-style-type: none"> 約3000泊分のキャンセル 前年同月比で30%減(宿泊施設運営) 売上はすでに、100万円程度は減少(4～5月)。 昨年90万円の売り上げ→ゼロの可能性 30万円ぐらいの減収 約10万円の減収
学術・文化・芸術・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> イベントの中止、定例会の頻度の減少、文化教室・スポーツ教室の自粛 会議が開けないことと会議のための会場確保が従来のように行えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 30万程度 100万 参加登録者550名への、中止の連絡の葉書代や電話代が負担となっている。 前年度比で約25%の入園者数の減少(入園料の減収)
環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 3～5月、活動自粛にともなう減収 依頼もなくなり、昨年度までの流れを継続できない。 集合しての活動、バスでの移動などできないため、活動は現在休止中。子供たちの活動なのでまだしばらく活動できない。 総会の参加者が減った。 <p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップのオンライン化、コミュニティのオンライン化が進んだ 	<ul style="list-style-type: none"> 20件近かった依頼が今のところ今年度はゼロ。 3～6月の講座、出前授業、エコツアー、体験アクティビティなどが0となった。約100万円程度の減収。

観光	<ul style="list-style-type: none"> ・休業要請があったため1カ月ほど休館をしていたので、4月5月の収入が前年比10分の1しかない。要請があげた後も利用者は数人しかない。 ・3月のイベントも中止になった。 ・通常活動が全て自粛になった ・臨時休業をした約一カ月は売上はほぼ止まった状態だったが、主な資源である委託金の減額はなかったので、大きな影響はなかった。 <p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の方が増えた関係か、ネット関係の事業の方は、例年よりも良い反応が得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託分 150 万円程度減少
国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、理事会の延期（結果的に5月に書面表決で実施） 	
災害救援	<p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会の運営に関しては、オンラインを導入した。今後も利用できるように、情報を集めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県からの講座の委託を受けているが、3月から6月まで、ほぼ0となった。（昨年度7件）。例年この時期は少ないが、今後期待したい。
子どもの健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・移転とその後の開設準備に遅れが出た。 ・休館をしなければならず、利用者を受け入れることが6月までできなかった。集客しての行事ができない。 ・交流の場の提供ができなくなったことが一番の影響。6月に入ってやっと子どもたちの元気な声が聞かれるようになりました。 ・利用場所が老人ホームのため、今後の見通しがたたない（クチコミが普及されるまでは無理）。新たなフィールドで考える必要がある。ポケットは予防しながら開催中。 ・自営の事業から運営費を回しているが、収入が減り影響が大きい。 <p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を改善しようと思っていた矢先だったので、新しいアイデアにチャレンジするきっかけになった。事業の方向性を大幅に変更できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～6月までは宿泊者が一人もいない(全てキャンセルになった) ・今のところ変更はないが、R2年度事業実施の状況により減額等が示される可能性あり。実施をするための準備等に人件費等が大幅に増加しているから、実績的にはゼロに近く、200万円ぐらいの影響が出る。
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の解約、寄付の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館による利用者数の減少（図書館：1600人）（文学館：200人）
情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教室開催に利用している会場（三か所）が利用禁止になり、三カ月間休講となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月～5月の間休講のため、会費の納入がなくなり無収入となったので、約45～50万円の減収。
職業能力・		<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等の事業を企画しないことによる助成

雇用機会		金の減少や、まちづくりファンドの助成取りやめによる助成金の中止
人権	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修の受け入れが全くなかった。 ・予定されていた様々な事業が中止となっているが、今後も開催できるのか見通しがたたない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後どうなるのかによって変わってくるので、現段階ではまだわからない。
農山漁村・中山間地域		<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りでもらっていた寄付 25 万円ほどの見込みがなくなった。
保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に濃厚接触者が施設内から出たため、2週間の自主自粛となり減収 ・あったかふれあいセンターの委託費については減少なし。利用制限自粛による給食事業が収入減となっている。 ・いきいき百歳中止による高齢者の運動不足外出できないことから、筋力低下や認知症に対する心配事の電話相談あり ・コミュニティカフェは全く開けず、また障害者施設への訪問も2月～5月休止。 ・コロナ不安による利用者の休みが増え、障害福祉サービス収入減少が出てきている。 ・スポーツ活動を休止したため知的障害者の体力の低下が懸念される。 ・まちなかの障がい者や高齢者、親子連れなどへ対応する拠点二カ月半休止。その後も感染対策をして再開。活動減が次年度の補助額に影響する可能性あり。 ・演奏活動や福祉フェアの開催などを行っているので、三密状況であり、今のところ活動や練習を行えない。今は地域の高齢者の施設などに向け感染対策の情報を発信している。 ・会員との接触が困難になった。 ・学生の参加がいつ出来るかわからない ・現地に行くことができなくなっている。里親の方の収入減で支援金が集まっていない。 ・三密を避けることの難しさ。 ・支援活動に必要な講演会の開催が中止、研修会等の開催も延期や中止をしなければならず、支援活動の士気低下が気がかりなことがある。また、長期間の自粛が続くことから当センターの財源である会員各位からの会費及び寄附の減少が微減的に現れてきていること等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100,000円 ・2020年5月の授産事業の売上が266926円。2019年5月は572000円なので53.4%減だった。 ・20万円から25万円の収益のあった受注金が10万円ぐらいに下がった。工賃収入が減少した。 ・30%～60%減 ・4月は90万円、5月は50万円の減収（売上ゼロのため）となっている。 ・4月～5月21日までに、デイサービス、交流促進講座の未実施に伴う委託料返還金約35万円 ・6万円程度 ・延べ120人の減少。 ・昨年度の同月に比べると、利益も上がって来ていたため差がなく、コロナウイルスにおける補助金等の対象にならないことが多い。 ・また、利益が上がっていた分4月以降の予算（主に人件費）を立てていたため、その影響が大きい。 ・市から受託が決まっていたバリアフリーまっぶ制作が契約に至らずストップ（市で延期も含め協議中） ・事業を縮小して実施するが、年度末の実績を出すときでない、概算でも出しにくい。 ・自粛による運営費減収額 4月のみ 1,500,000円 ・自粛による受託事業契約解除 年間 1,500,000円 ・前年同月比 3月：約35%減、4月：約4

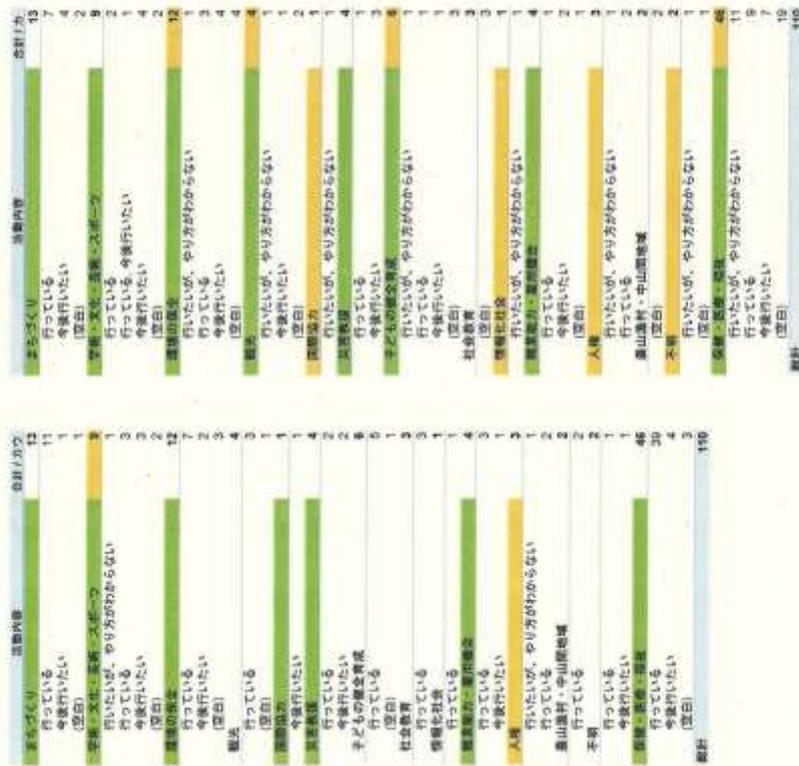
<ul style="list-style-type: none"> ・施設における活動(傾聴)の休止と借用会場(会員養成講座、定期総会、月例会)の閉鎖 ・事業収入の大幅な減収 ・就労継続支援B型、2事業所ある中の1事業所は、お菓子の製造販売としており、8割が訪問販売なので、4月5月6月と中止になったので、利用者さんの工賃支払いに支障が出ている。 ・通所の中止。お弁当注文が増えたが元に戻った。 ・電話対応のみで訪問活動ができず、当事者の不安が多かった。訪問ができなくなった。講座の中止あり。 ・訪問活動の中止。 ・訪問先(仕事先)が期間中閉鎖(入室禁止)となった。 ・生産物の販売先(訪問先)の自粛により、売上の減少 ・利用者が減少した。 <p>プラスへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ会議を初めて活用 ・学校が休みの為用務員が休職となり収入源となった。 ・ZOOMを使い、リモート会議を一部デモ的に実施し、実際のセミナー(有料)をオンラインでうけて、広く利用する方向が生まれた。 ・事業が自粛により停滞したことは困った。が、できる範囲の見直しをしている。 ・プラスになったことは、陣中見舞いと言って、消毒液やマスク、フェイスシールドなどを持参して、はげましの言葉や、父がお世話になったからなど、やさしい言葉をいただき、励みになった。 	<p>0%減、5月：約55%減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末決算において、1,592千円のマイナスであった。本年3月以降相談者の面接は減少傾向にあるように思える。 ・売上30万円減。利用者さんの利用時間も短時間利用である。 ・約100万円減少。 ・利用者2名、2週間に1回のペース ・利用者数の減少により、昨年度5月は、20～30%の減収。 ・利用者生産活動収益が半減 前年度4月603,814円 今年度4月343,863 ・事業所を利用される利用者数の減少があったので支援費の減少があった。
---	--

活動分野別の回答 9-1~9-4

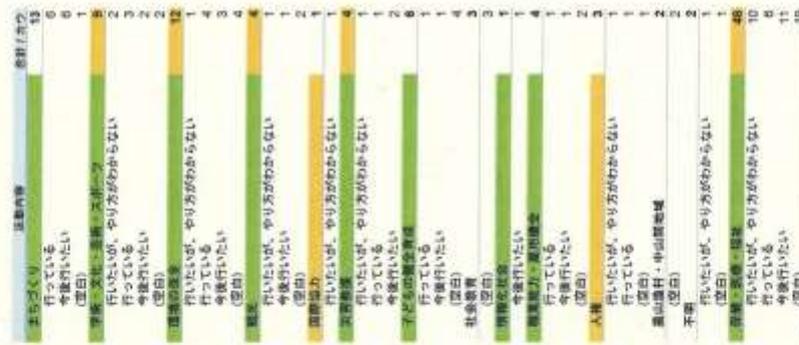
影響を少なくするために、高知県のNPOが組織の運営や活動で行っている対策や工夫

- 「今後行いたい」という回答がある場合は、緑で彩色
- 「行いたいが行き先がわからない」という回答がある場合はオレンジで彩色

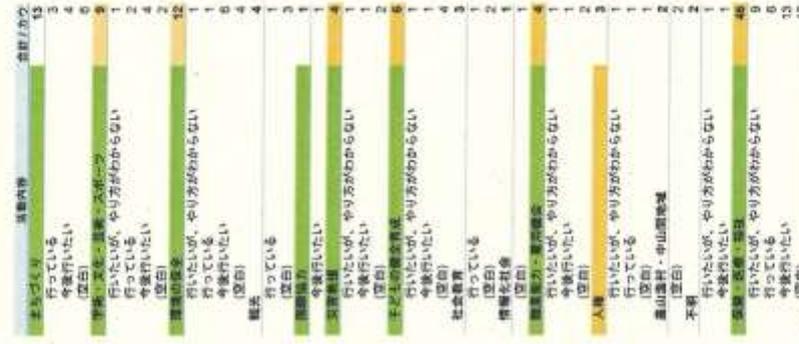
9-1 感染症予防を講じている。



9-2 内部のコミュニケーションにウェブ会議等活用



9-3 イベントや打ち合わせにウェブ会議などを活用



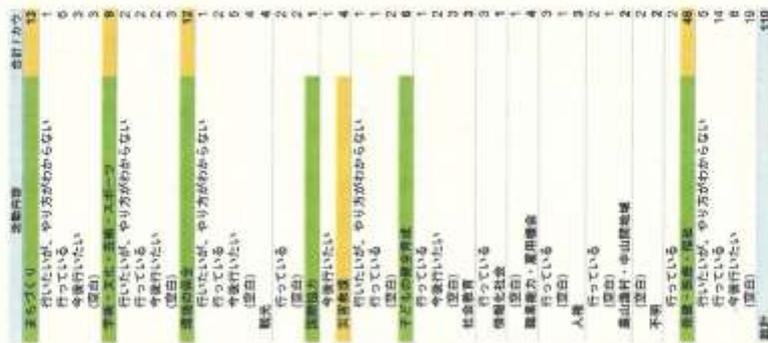
9-4 他団体と協働して対策を講じている。

「今後行いたい」との回答がある活動分野は、緑で色付けしている。
「行いたいが行き先がわからない」という回答がある活動分野は、オレンジで色付けしている。

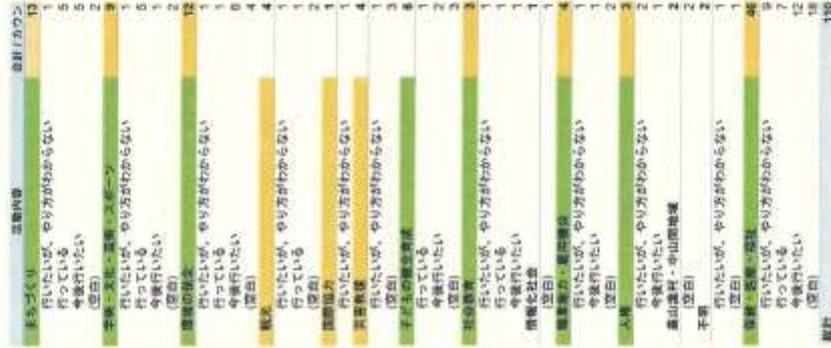
活動分野別の回答 9-5~9-7

● 「今後行いたい」という回答がある場合は、緑で彩色
 ● 「行きたいがやり方がわからない」という回答がある場合はオレンジで彩色

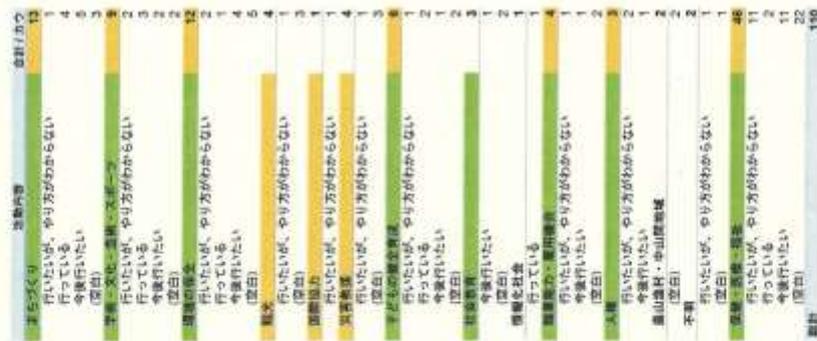
9-5 行先と活動について回答を纏めている。



9-6 五福制度や勤労者の情報をまとめている。



9-7 本人に対する調査や勤労者制度などを判別している。



9の段階では、今後の調査形式に対するお返について、サポートが必要であるか調査について、サポートが必要であるか調査について、「行きたいがやり方がわからない」という回答に注目し、活動分野ごとの傾向を分析した。

1. 「今後行いたい」という回答が全7項目にわたった活動分野

- 1) まちづくり
- 2) 学術・文化・芸術・スポーツ
- 3) 環境の保全
- 4) 保健医療福祉

2. 「行きたいがやり方がわからない」という回答が6項目にわたった活動分野

- 1) 学術・文化・芸術・スポーツ
- 2) 環境の保全
- 3) 人権
- 4) 保健医療福祉

「今後行いたい」との回答がある活動分野は、緑で色付けしている。
 「行きたいが、やり方がわからない」という回答がある活動分野は、オレンジで色付けしている。

まとめ

1. 全体の調査結果

1) 全体の調査結果から、非営利団体へ大きな影響が出ていることがわかった。

① 現在影響が出ていると回答した団体数が多かった項目 (多い順)

- ・事業の実施への影響 (約 8 割)
- ・自主事業の減収 (約 5 割)、活動場所への影響 (約 5 割)
- ・組織内でのコミュニケーション (約 4 割)、スタッフの活動形態等 (約 4 割)
- ・活動の担い手の育成 (約 3 割)、活動へのモチベーション (約 3 割)、感染予防対策経費 (約 3 割)、スタッフの生活の変化による事業への影響 (約 3 割)、
- ・委託金や補助金、助成金の減額 (約 2 割)、
- ・寄付金の減少 (約 1 割)、スタッフの雇用等 (約 1 割)、

2) 売上や受注、利用者数や委託金の減少などが顕著にあらわれており、各団体も、金額や人数など具体的な数値を把握していることがわかった。(P11~12 設問 8 の回答参照)

・会費の減少、助成金の減額、委託費や補助金などの減額、利用者の減少、自主事業や工賃収入などの減収、活動の実施への不安などについての意見が見られた。

3) コロナ禍の影響を減少するための対策や工夫について、予防を講じているところが大半であるが、まだまだ情報が行き届いていないことがわかった。

・多くの団体が感染症予防を講じている。また、6月の時点で、3~4割の団体がウェブ会議システム等を使い、内部コミュニケーションやイベントなどの実施に取り組んでいる。他団体との協働へも前向きに検討および実施しており、行政と協働して対策を講じている団体は、半数を超える。感染症対策の支援制度や助成金、法人経営への支援制度についての情報については、3割程度が情報の集め方について、わからないと回答している。

2. 活動分野別の調査結果

1) 経営全体に影響があったと予測される活動分野

“活動分野ごとの回答団体数の50パーセント以上が「現在影響が出ている」と回答した項目”の数が多かった活動分野は、経営全体に広く影響があったものと予測される。下記の順番で多かった。

- ① 子どもの健全育成 8項目
- ② 観光 7項目
- ③ 社会教育 6項目
- ④ 職業能力・雇用機会 5項目
- ④ 災害救援 5項目
- ⑤ 学術・文化・芸術・スポーツ 4項目

質問項目（①事業の実施への影響②自主事業の減収、③活動場所への影響、④組織内でのコミュニケーション、⑤スタッフの活動形態等、⑥活動の担い手の育成、⑦活動へのモチベーション、⑧感染予防対策経費、⑨スタッフの生活の変化による事業への影響、⑩委託金や補助金、⑪助成金の減額、⑫寄付金の減少、⑬スタッフの雇用等）

2) 今後の支援等が必要と予測される活動分野

9の設問（p13～p15）においては、今後の感染拡大に対する対策についての質問を行なった。「今後行いたい」および、「行いたいやり方がわからない」という回答が多い活動分野は、状況に対応し活動する意欲がありながら、まだ対応できていない状況であると予測される。

A. 「今後行いたい」という回答が全項目（7項目）にわたった活動分野は下記の順番となった。

- ① まちづくり
- ② 学術・文化・芸術・スポーツ
- ③ 環境の保全
- ④ 保健・医療・福祉

B. 「行いたいやり方がわからない」という回答がほぼ全項目（6項目）にわたった活動分野は下記の順番となった。（全項目にわたった活動分野はなかった。）

- ① 学術・文化・芸術・スポーツ
- ② 環境の保全
- ③ 人権
- ④ 保健・医療・福祉

質問項目（①感染症予防対策、②内部のコミュニケーションにウェブ会議等活用、③イベントや打ち合わせへのウェブ会議等活用、④他団体と協働しての対策、⑤行政と協働しての対策、⑥支援制度や助成金の情報、⑦融資や助成金制度などの利用）

●「今後行いたい」および「行いたい、やり方がわからない」共に、多項目に回答がわたった活動分野は、「学術・文化・芸術・スポーツ」「環境の保全」「保健・医療・福祉」であった。

3) 活動分野別のまとめ

●経営全体に影響があった分野は、「子どもの健全育成」と「観光」であった。経営全体にやや影響があり、新型コロナウイルス感染拡大に関して、「今後行いたい」および「行いたい、やり方がわからない」ことが多い活動分野は、「学術・文化・芸術・スポーツ」であった。

今後必要となる支援

～アンケート検討会における意見交換等より～

1. 活動方法の変化する時代へ対応した支援

- ・ コロナ禍にかかわる相談を受け止める相談窓口
- ・ オンライン化、IT化のサポート
- ・ 情報セキュリティに関するサポート
- ・ コロナ禍対応資金や物資支給のための支援
- ・ 専門家（IT化等）の相談支援や実施支援
- ・ コロナ禍の中で活動するための基準や行動様式についての情報発信

2. 「市民活動」「非営利活動」を支える支援

- ・ 支援制度の少ない活動分野や、NPOに特有な現象への支援
例) 不要不急の分野、寄付者の減少等
- ・ 新しい市民活動を実践するための、知恵の共有の場の設置
例) はなし場の開設などの、叡智や経験を共有するプラットフォーム、ZOOM飲み会等
- ・ 活動を継続するための、学びの場づくり

3. 経済的支援（アンケートで最も要望が多かった支援）

- ・ 高知県や高知市などの、地域限定コロナ関連支援制度の紹介やサポート
- ・ 国や公益団体などの、コロナ関連支援制度の紹介やサポート
- ・ コロナ関連助成金情報の提供とサポート
- ・ 専門家（助成金、制度活用）の相談支援や実施支援
- ・ 商品の販売場所、販売先などのアレンジメント
- ・ 活動場所の支援（場所提供支援、家賃など固定費のサポート）
- ・ 活動場所の環境整備支援（リフォーム費用など）
- ・ 寄付推進と、支援金の配布
47 コロナ基金（高知県へのNPO支援寄付の受け入れ可能）等への寄付のお願い
<https://congrant.com/project/sanaburi/1771>

4. 記録・調査・公開支援

- ・ アンケート回答団体等への個別ヒアリングと記録・公開（によるマッチングの誘発等）

5. 中長期的経営改善支援

- ・ リスクに対応できる経営改善支援の実施
（例）組織診断による自己分析と伴走型支援

配布アンケート(郵送)

新型コロナウイルスの感染拡大における、非営利組織への影響に関するアンケート(高知県全域版) 1枚目 締切り:7月1日

このアンケートは、高知県内の中間支援組織(NPO高知市民会議、環境の杜こうち、西部NPO支援ネットワーク、高知県ボランティア・NPOセンター、以下NPOサポートチーム。)が、NPOを始めとする県内の市民活動の状況の把握および新型コロナウイルスに関する各種支援策の検討や、支援につながる関係各所への情報提供を目的に実施しています。多くの声をいただければ幸いです。今回は、4月に県内NPO約30団体に行った緊急アンケートを参考に、対象を広く拡大した一斉アンケートとして実施しています。前回ご協力いただきました団体の方々にも再度ご協力いただきますようお願いいたします。なお、アンケート依頼が重複して届く場合は、一団体一回答をお願いいたします。いただいた回答はピピピネット他、県内の中間支援組織のホームページなどで公開すると共に、NPOへのサポートにつながる情報共有や情報提供に活用いたします。



↑ウェブフォームは
こちらからアクセスできます。

1. 貴団体の法人格について教えてください。

- 任意団体 NPO法人 一般社団法人 一般財団法人 社会福祉法人 その他

2. よろしければ団体名を教えてください。(任意記入です。)

(団体名は基本的に情報公開はいたしません。ただし、サポート等の目的で、後日ご連絡する場合があります。)

3. 主な活動分野を教えてください。 4. 運営における主な財源を教えてください。

※一つだけマークしてください。

- 会費 寄付 国や県、市町村等からの委託
民間からの委託 補助金 助成金
その他 _____

5. 主な活動地域を教えてください。

- 高知県内全域 県内西部地域 県内東部地域 県内北部地域 その他: _____

6. 新型コロナウイルスの感染拡大により、「活動」や「経営」には、どのような影響がありましたか。

	影響が出ている	今後影響が出ると思う	当面影響は出ないと思う	わからない
事業の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動場所(会場など)の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の担い手の育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織内でのコミュニケーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
団体の活動へのモチベーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染予防対策の物資(マスクや消毒液など)の入手	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染予防対策の経費	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スタッフの生活の変化に伴う、事業および経営への影響(本業の収入低下による複業実施による活動時間の減少や家族への対応など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スタッフの雇用や雇用形態の変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スタッフの活動や活動形態の変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主事業の減収	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
委託費や補助金、助成金の減額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
寄付金額の減少	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
上記以外の影響	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

実施主体: 高知県NPOサポートチーム (NPO高知市民会議、環境の杜こうち、西部NPO支援ネットワーク、高知県ボランティア・NPOセンター) お問い合わせ・返信先: 高知県ボランティア・NPOセンター 780-8567 高知県高知市朝倉4-3-75-1 ふくし交流プラザ4F TEL: 088-850-9100 FAX: 088-844-3852 kvnc@pippikochi.or.jp 担当: 武田・嶋川

2枚目に続きます。

新型コロナウイルスの感染拡大による、非営利組織への影響に関するアンケート(高知県全域版) 二枚目

7. その他、団体の活動や経営に影響があったものがあればお書きください。(プラスになったことなどもお書きください。)



このウェブフォームは
こちらからアクセスできます。

8. 売上や受注、利用者数や委託金の減少などがあった場合、その金額や数(見込みも可)を教えてください

9. 影響を少なくするために、組織の運営や活動で、どのような対策や工夫を行っていますか?

	行っている	今後行いたい。	行いたい やり方がわからない。
感染症予防を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウェブ会議システムなどを活用して、内部のコミュニケーションを図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウェブ会議システムなどを活用して、イベントや打ち合わせなどを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他団体と協働して対策している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
行政と協働して対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染症対策の支援制度や助成金についての情報を集めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染症対策の、法人に対する支援制度(助成金や融資など)を利用した。(または利用する。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内容</div>		

10. 必要な支援策について、当てはまるものを選択してください。複数選択可

資金支援
 物資提供支援
 情報支援
 人材支援
 食材支援
 わからない
その他 _____

11. 必要な支援について、具体的に要望するものがあればお書きください。

12. その他、活動分野における新型コロナウイルス感染拡大に伴う懸念や、今後の活動、高知のNPOの今後など、ご自由にお書きください。

※欄が足りない場合は、別紙で追加してください。ご協力ありがとうございます。高知県NPOサポートチーム

お問合せなどは、発送元のNPOサポートチーム、または、事務局：高知県ボランティア・NPOセンターまでご連絡ください。
 TEL:088-850-9100 FAX:088-844-3852 kvnc@pippikochi.or.jp 担当：武田・鳴川 締切り：2020年7月1日

ウェブアンケート(郵送)

新型コロナウイルスの感染拡大 における、非営利組織への影響に関する アンケート(高知県全域版)

このアンケートは、高知県内の中間支援組織（NPO高知市民会議、環境の杜こうち、西部NPO支援ネットワーク、高知県ボランティア・NPOセンター、以下高知県NPOサポートチーム）が、NPOを始めとする県内の市民活動の状況の把握および新型コロナウイルスに関する各種支援策の検討や、支援につながる関係各所への情報提供を目的に実施しています。多くの声をいただければ幸いです。

今回は、4月に県内NPO約30団体に行った緊急アンケートを参考に、対象を広く拡大した一斉アンケートとして実施いたします。前回ご協力いただきました団体の方々にも、再度ご協力いただきますようお願いいたします。なお、アンケート依頼が重複して届く場合は、一団体一回答をお願いいたします。

いただいた回答は、ピピネット他、県内の中間支援組織のホームページなどで公開すると共に、NPOへのサポートにつながる情報共有や情報提供に活用いたします。

アンケート実施期間：2020年6月10日～7月1日

実施主体：高知県NPOサポートチーム（NPO高知市民会議、環境の杜こうち、西部NPO支援ネットワーク、高知県ボランティア・NPOセンター）

お問合せ：高知県ボランティア・NPOセンター <https://www.pippikochi.or.jp/>

*必須

1. 貴団体の法人格について教えてください。*

- 任意団体
- NPO法人
- 一般社団法人
- 一般財団法人
- 社会福祉法人
- その他

よろしければ、団体名を教えてください。（団体名は基本的に情報公開はいたしません。ただしサポート等の目的で後日ご連絡する場合があります。）

回答を入力

3. 主な活動分野を教えてください。

回答を入力

4. 運営における主な財源を教えてください。(一つだけマークしてください。)

- 会費
- 寄付
- 国や県、市町村等からの委託
- 民間からの委託
- 補助金
- 助成金
- その他:

5. 主な活動地域を教えてください。

- 高知県内全域
- 県内西部地域
- 県内東部地域
- 県内北部地域
- その他
- その他:



9. 影響を少なくするために、組織の運営や活動で、どのような対策や工夫を行っていますか？

	行っている	今後行いたい	行いたいですが、やり方がわからない
感染症予防を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウェブ会議システムなどを活用して、内部のコミュニケーションを図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウェブ会議システムなどを活用して、イベントや打ち合わせなどを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他団体と協働して対策している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
行政と協働して対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染症対策の支援制度や助成金についての情報を集めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
感染症対策の、法人に対する支援制度(助成金や融資など)を利用した。(または利用する。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9-1. 上記で「その他」を選んだ場合、その内容についてお書きください。☆

回答を入力



1 0. 必要な支援策について、当てはまるものを選択してください。

- 資金支援
- 物資提供支援
- 情報支援
- 人材支援
- 食材支援
- わからない
- その他:

1 1. 必要な支援について、具体的に要望するものがあればお書きください。

回答を入力

1 2. その他、活動分野における新型コロナウイルス感染拡大に伴う懸念や、今後の活動、高知のNPOの今後など、自由にお書きください。（上記の質問で、その他の内容が記載できなかった場合などもご活用ください。）この質問が最後の質問です。ご協力ありがとうございました。

回答を入力

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#)・[利用規約](#)・[プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



アンケートの結果から

市民活動の継続のために、行政の皆様や NPO への委託や補助・助成を行っている皆様にご配慮いただきたいこと

1. 事業実施の評価基準についての十分なご配慮

新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で、今年度の委託事業で実施されないものがある場合に、委託金の返還や減額等を求められる際には、人件費との関係性などについても十分にご配慮をお願いいたします。すでに事業のために人材を雇用している場合に離職者が出てしまうようなケースも想定され、特に経験や能力を持つ人材の場合、コロナ禍終息後の事業再開に支障をきたす可能性があります。

解決策の例) コロナ禍で事業ができなかった（または事業を実施したが事前の成果目標に到達していなかった）場合における、評価基準の変更。事業実施可能期間での評価や準備やプロセスに対しての評価、予算内でコロナ対応を行ったことへの評価等。

また、上記の判断につきましては、年度末の通知のみにならぬよう、確認、検討を事前に行い、双方交えて共有するための場を設けて頂きますようお願いいたします。

2. NPO の活動継続に対する支援制度へのご配慮

多くの NPO は、常日頃より利益率が低いサービスや、対価が得られない相手に対する支援を、助成金獲得や寄付等を集めて提供し、高知県のあらゆる場所で市民の福祉を支えています。これらの NPO の多くは、利益率が低いがゆえに、運転資金の余力となる内部留保をほとんど持っていません。

そのため現在のコロナ禍において、1) 売上の減少や委託の中止に伴う賃金の減少による人材離れ、2) 資金不足等によるオンライン化等への移行困難、3) 感染拡大防止のための、備品や消耗品の高額化による入手困難や資金不足、4) 寄付や売り上げの減少による固定費不足、などの、新たなる負担や経営困難を乗り越えることが難しく、今後の活動の不活性化や停止につながります。それは地域の福祉にとって大きなダメージとなります。

また一方で NPO は、市民参画型の事業型組織として、地域の新しい事業や雇用を生み出し、多様な形で地域経済活性化の一翼を担っています。

従って、様々な支援策・救済策に於いて、可能な限り NPO および NPO 法人も対象としていただきますよう、また、財源の関係で NPO が対象にならない場合には、代替となる支援策・救済策についてもご検討いただきますようお願いいたします。

3. 学術、文化、芸術又はスポーツに関する活動を行っている NPO 等への支援へのご配慮

学術、文化、芸術又はスポーツに関する活動は、生活や心への潤いをもたらす人の心を明るい方へと向け、孤独からの救済を行うなど、未然に課題の発生を防ぐ「心理的・社会的セーフティネット」とも言えますが、コロナ禍の中で発表や提供の場が困難だけでなく、練習を行うことも困難になっています。しかしながら、生活や生命、経済に直結するものではないため、支援が十分に行き届いていません。今回のアンケートでは、経営面に影響があり、かつ、団体自身も、今後様々な対応策を実施したいと考えている分野であることが判明しました。

これらの NPO や事業は、一度活動が止まると、復活は困難なことも予測されます。短期的な経済効率では測れないこのような活動も、「生活の幸福度や QOL を高め、個々の暮らしを守る」福祉的支援の観点で、支援策を検討していただくようお願いいたします。

4. 中長期的な観点での NPO の経営改善支援へのご配慮

新型コロナウイルスの感染拡大の状況が長期化する中で、どうにかして「活動」や「つながり」を保ち、孤立しないよう支え合いを保つ努力している NPO は少なくありません。

しかし今後は、新しい活動様式への対応と経営基盤の強化を行わなければ、NPO 活動の継続が難しい時代となっていくと思われまます。つながりや支え合い精神の醸成に欠かせない存在である NPO の、中長期的な経営改善への支援をご配慮いただくようお願いいたします。

以上

Ver.2 変更箇所：活動分野別の分析においての、数値・色付けに誤りがあったため変更した。P33 のまとめについて、内容を追加した。



4 7 コロナ基金（新型コロナウイルス地元基金）高知版トップ画像



<https://congrant.com/project/sanaburi/1771>

新型コロナウイルスの感染拡大における非営利組織への影響に関するアンケート報告書

高知県 NPO サポートチーム 2020 年（令和 2 年）9 月発行

お問い合わせ

高知県ボランティア・NPOセンター

☎088-850-9100 FAX088-844-3852

e-mail kvnc@pippikochi.or.jp

PDF データは高知県ボランティア・NPOセンターホームページに掲載しています。

<https://www.pippikochi.or.jp>